

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成 年 月 日

研究テーマ		西日本の砂浜海岸の遷移状況および生態系を基準とした分類作業						
目的	<p>昨今の地球環境の保全への意識が高まる中、砂浜海岸は陸域と海域の生態系の接点であり、その生態学的位置づけが重要である。ところが、砂浜海岸は近年侵食などの原因によって、その景観や生態系が急速に変化している。砂浜に関心のある工学者、生物学者はその保全や健全な遷移を模索する観点から、研究を遂行していく体制作りが必要であるが、全国の海岸線がどのような状況にあるのかを概観できる資料は少ない。そこで、本研究では西日本の主要な砂浜を調査し、1 砂の侵食・堆積の推移、2 陸域・海域の生態系の連続性、3 利用形態、から分類する。その成果に基づき分類した砂浜をマップ化することより、西日本の砂浜の現況を可視化する。</p>							
活動内容	<p>静岡県から鹿児島県にいたる太平洋岸および南西諸島の長さ1km以上の砂浜を抽出する。抽出したそれぞれの砂浜について、砂の侵食・堆積の変化の状況、陸域・海域の生態系の連続性、漁業やサーフィンなどの利用形態などを現地照査する。この作業によって分類された砂浜は目録として記録するとともに、地図上に示すことによって当該域における砂浜の現況を可視化する。この成果は論文とし沿岸域に投稿する。</p>							
グループの構成	世話人	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
	グループ構成員	亀崎 直樹	会員	海洋生物学	東京大学大学院農学生命科学研究科客員准教授 特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会会長			
		青木 伸一	会員	海洋工学	豊橋技術科学大学工学部教授			
		松沢 慶将	非会員	水産物理学	特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会主任研究員			
		田中 宇輝	非会員	海洋生物学	徳島県美波町立日和佐うみがめ博物館カレック職員			
	田中雄二	非会員	コンピューターグラフィクス	特定非営利活動法人表浜ネットワーク				
日程表	研究期間	平成20年 6月～平成 21年 5月			開催頻度	研究期間中調整会議を1回		
	開催場所	大阪府枚方市			研究運営費			